

番組審議会議事録

日時 令和6年11月11日（月）13:30～

場所 萩テレビ株式会社 会議室

出席者 審議委員5名 会社側3名

三浦正之、柳林浩一、牧野泉、藤田賢治郎、北川秋穂【委員】

梶野晴彦、久保田桂子、井上光貴【会社側】

欠席者 國光博基、小川真綾【委員】

議題

[1] 会社側の報告等

- ・近況報告

- ・今回の審議番組について説明

審議番組：「アフタヌーン775」（月～金 12:00～15:00）

パーソナリティ 岩本 祥子 さん（水曜日担当）

- ・番組内容

地域の情報をお届けする午後の情報ワイド生番組。

まちの話題や天気予報をお届けするほか、ゲストコーナーでは、地域で活躍する方や著名人などをお招きしてお話を伺っています。

今回は、令和5年4月から新しく担当となった岩本祥子さんの放送を審議して頂きます。

- ・10月2日（水）放送分（14:00～14:30/サイマル放送）

ゲスト:SDG'sファシリテーター 中嶋雅美さん

（毎月第1水曜日レギュラーゲスト）

- ・10月2日（水）放送分（14:00～14:30/サイマル放送）

ゲスト:萩市社会福祉協議会のみなさん

（毎月第2水曜日レギュラーゲスト）

[2] 番組内容の審議

次のような意見があった。

- ラジオを聴くことで明るい気持ちになりたいので、本人の嫌な体験や気持ち等をラ

ジオで話すべきではないと感じた。

- ゲスト対応の際に自分自身の話になってしまうことがある。また、ゲストが無口な方の時に無音になる時が少しあるのが気になる。
- 語り口はソフトだが、途中からモゴモゴと話す場面があり語尾が聞き取りにくい。また、途中から笑いや声が震える部分などが気になった。
- いやな思いをされ、困り気味だというような表現があった。本業が別にある方のようだが、公共のラジオ放送の中で話されるのはどうかと思った。事情を知らない方が聞いたら少しびっくりされるかもしれない。
- SDG's の話では難しいテーマや言葉があり、聞いている方は話についていけない場面があった。
- 抽象的な話の場面があり、自分の中にストンと落ちてこなかった。
- パーソナリティが話をまとめた部分もあったが、分かりづらかった。ながら聞きができず、難しい言葉などはスマホで調べながら聴かないと分からない話があった。
- パーソナリティが話を深掘し、リスナーに聞いてもらう工夫をすると良い。全体的に授業を受けているみたいだった。
- SDG's の番組で、流しそうめんを例にした話があった。次の人のことを考えて行動していこうというお話は分かりやすい。そのような具体的事例をもとに深掘をしていくとリスナーにもよく伝わるのでないか。
- パーソナリティの役割とはとても難しいと思う。抽象的な部分をより具体的に伝えていくような働きかけをしていくことが大事ではないか。
- 1つ1つはよく説明してくれているが、後からそれを説明してみてもと言われたら説明ができなかった。
- SDG's の番組では、自分の中に具体的に浸み込む言葉がなかったのが、よりよく理解できない理由かもしれない。
- パーソナリティは途中で話をまとめる努力はしているが、本人も話が難しく理解できていない部分があるのではないかと思った。
- SDG's ファシリテーターの方の話の中で自分たちがしていることをもっと具体的に説明してくれるといいと思った。
- SDG's のお話しはよく分からなかった。もう少し具体的に分かりやすく説明してもらえるとよかった。
- ゲストの中嶋さんのワークショップのお話しの中では、問い合わせ先の説明がなく、興味があっても連絡ができないと思った。
- SDGs を理解したいと思っていたがきっかけがなかった。この番組がきっかけでSDGs の理解が進んだ。こども環境白書は子どもでもわかる内容の参考書で、このような紹介はとても良い。
- 初めて番組を聞く人向けに趣旨を番組冒頭で話したりすると分かりやすい。

- この番組のターゲットをどこに置いているのかよく分からなかった。初心者向けであれば「こども環境白書」の内容程度が理解しやすいと思った。
- 岩本さんが洋服を買う時に、何処で、どのような人がつくっているかを調べてから…との話があり、リスナーの理解を助ける、とても良い例だと思った。
- 新しい語句が次々に出てくる。ラジオでは理解できない語句もあり、パーソナリティに繰り返してもらおうなど、もう少しサポートが欲しかった。
- ABU CAMP FIELD が地方創生を目的に作られ、農業・漁業など多くのパートナーによって運営されているという紹介は、SDG's の 17 を理解する上でとても参考になった。
- 社会福祉協議会や共同募金などの話や情報が聞けたのは良かったが、番組の最後は時間が余っていたし、情報が多いので最後に内容をまとめると理解しやすい。また、ゲストの話が一方的になると話が入ってこないのが、ゲストとパーソナリティの掛け合い・キャッチボールがあると分かりやすい。時間配分を打ち合わせの段階で行うと良い。
- 社会福祉協議会をゲストにしてのお話しは、情報番組としてはとても良い。
- 誰もが持っている疑問を投げかけるのはとても良かった。
- 赤い羽根募金の話では、身近な話ではあるがどのように募金が使われているかなど詳細に話していたのでとても良かった。

<会社側からの回答>

- これからも市民が聞いて役立つ情報発信及び新しい番組の企画に努めていきたい。

[3] 次回開催について

今回は、令和7年1月16日(木)13:30~に開催することが決まった。
審議番組は、令和7年の新春特別番組「ヒョンビンにポゴシポヨ」に決まった。